

技工部だより

歯科技工部門 川 島 美 咲

初めまして、診療支援部歯科技工部門歯科技工士の川島美咲です。私は2019年4月より新潟大学医歯学総合病院診療支援部歯科技工部門の歯科技工士として日々、業務に励んでおります。

私は岐阜県出身で地元の歯科技工士専門学校を卒業した後、大阪大学歯学部附属病院の歯科技工士研修制度を利用して、1年間基本的な臨床技術や知識を学びました。そこで新潟大学の歯科技工部門の求人を目にして応募しました。

新潟は今まで来たことがなかった場所で未知でしたがすごく住みやすく、自分自身とても気に入っていますし家族や友人が来てくれた時もとても楽しんで貰えます。

また岐阜は海がない県なのでいまだに海に行くと少しワクワクします。

ただ、今年初めて新潟の雪を経験しました。今まで住んできたところと違って風が強いので体感温度がかなり低いです。雪の量は地元とそんなに

変わらないのですが風がある影響でかなり寒いのでまだまだ慣れるのは大変だなあと感じます。

専門学校を卒業してそのまま就職するのは不安だったため、もう少し実践的なことが学びたいと思い大阪に行ったのですが、そこではじめて顎補綴という分野を知りました。

そして興味を持ち、当時徳島で開催された学会にも参加しました。

せっかく学んだことを生かしたいと思っていたところこの求人を見て応募したところ縁あって採用をいただきました。

新潟に来て早いことにもう少しで2年が経とうとしています。

一昨年の長崎での顎顔面技工学会での発表など、なかなかラボに就職していたらできなかった経験ができていてとても新鮮です。

まだまだ未熟ですがこれからもよろしく願いいたします。

技工部だより

歯科技工部門 藤石美穂



2019年6月より診療支援部門 歯科技工部門に勤務しております。

歯科技工士の藤石美穂と申します。三条生まれ、途中長野県の諏訪地方に12年住んでおりました。趣味は音楽を聴

くことでバンドのライブに行くのが好きなのですが生憎のご時世で去年からご無沙汰しております。それまではライブ目的で東京くらいだと「ちょっとそこまで」気分、日帰りでひょいっと行っていました。今は代替りの趣味を模索中です。

技工の話に戻りますが、明倫短期大学を卒業後こちらに来る前は技工所に勤めておりました。

主に義歯をやっておりましたが完全分業制で、試適時の排列とワイヤー屈曲を担当していました。分業制は設計に携わることもなく、ここでのやり方とは全く違うので最初はかなり戸惑いまし

た。そもそも勉強する機会もなかったなんて言い訳ですが、自分の知識不足に気落ちすることもしばしばです。このまま分業で一部分の経験しか積みせずに他で通用せずに一生を終えることに不安を感じ転職を考えました。

ここでは技工全般の業務を担うので覚える事が多いので大変に感じますが、まず普通の技工所ではお目にかかれない症例を見る事ができることに驚きました。

入職して2か月ほどでホッツ床をやるとは思っていませんでした。患者さんにもお会いしたことが無かったので診療を見学させて頂いた時に患者さんが不安に思っていることなどを聞いて気づくこともあり、もっと良い物を作らなければと思いました。

まだまだ知識に乏しく、ご不便をかけることもございますが成長すべく頑張っていきたいです。